

雲仙岳

11月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

11月の活動概況

・噴煙活動(図2)

噴煙は白色、ごく少量で高さの最高は40mと低調に経過しました。

・地震、微動活動(図2、図3)

火山性地震の回数は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動(図4)

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

噴火警報、噴火予報の発表状況(12月6日現在)

気象庁は平成19年12月1日より、噴火警報及び噴火予報の発表と、噴火警戒レベルの運用を開始しました。それに伴い、12月1日に雲仙岳に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁のホームページを参照ください。

・活動状況及び予報警報事項：噴火警戒レベル1(平常)

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。雲仙岳の噴火予報・警報は、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)です。

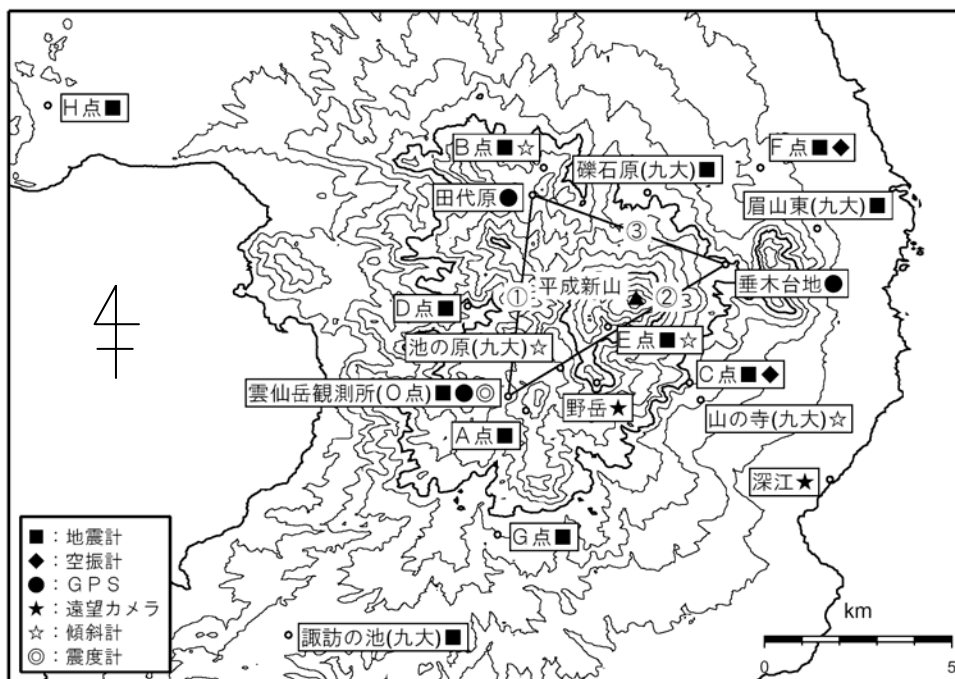


図1 雲仙岳 観測点配置図

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

雲仙岳

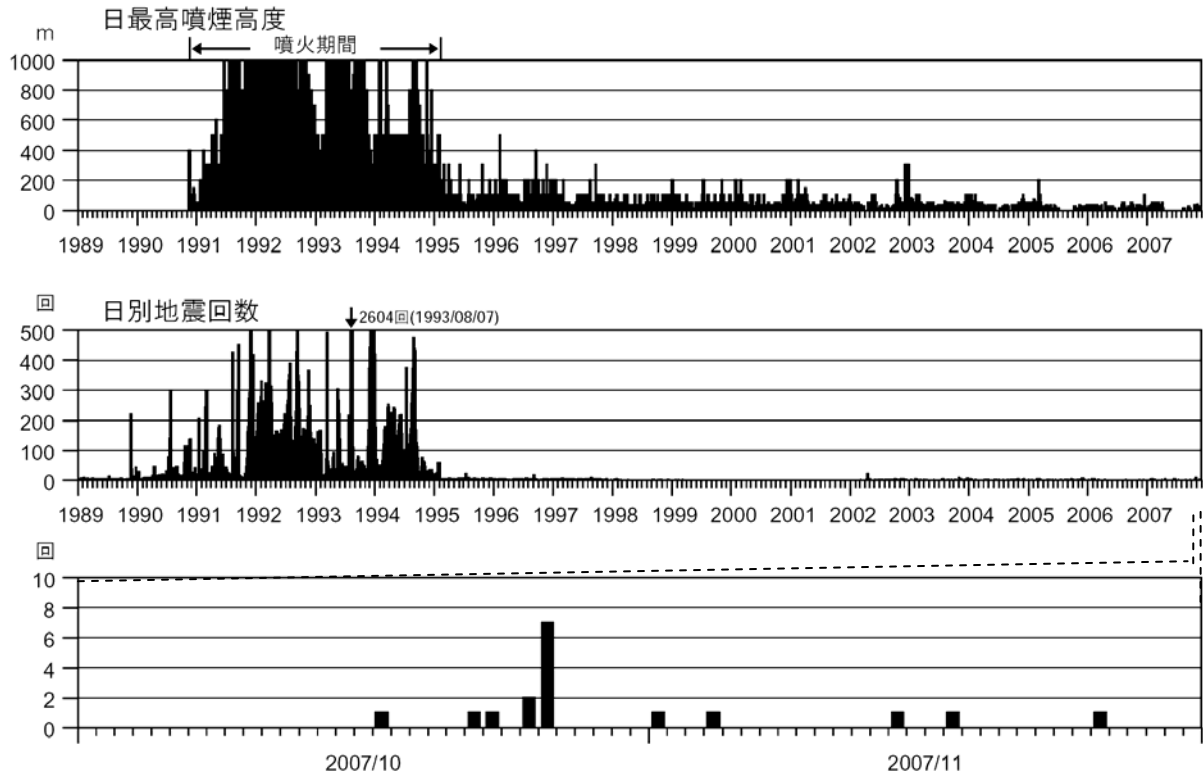


図2 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月~2007年11月)
遠望観測で噴煙の高さの最高は40mでした。(10月:30m)。

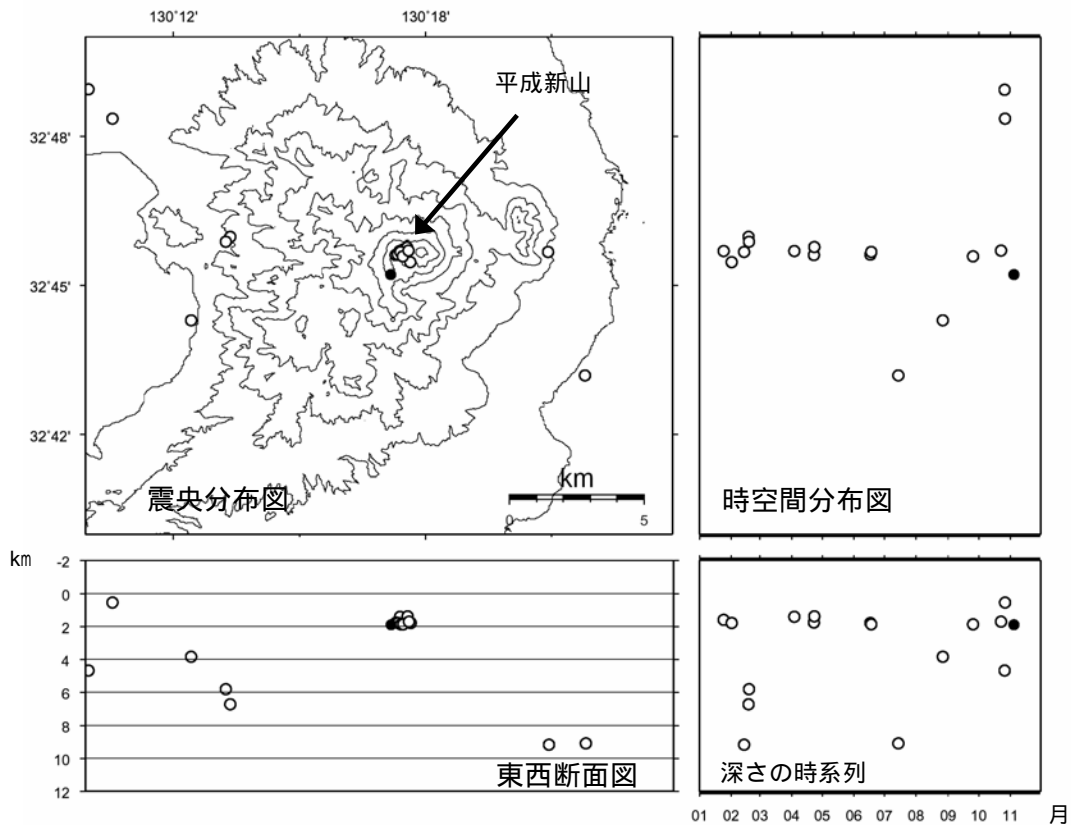


図3 雲仙岳 震源分布図(2007年1月~2007年11月)
火山性地震は平成新山付近に1個の震源が決まりました。

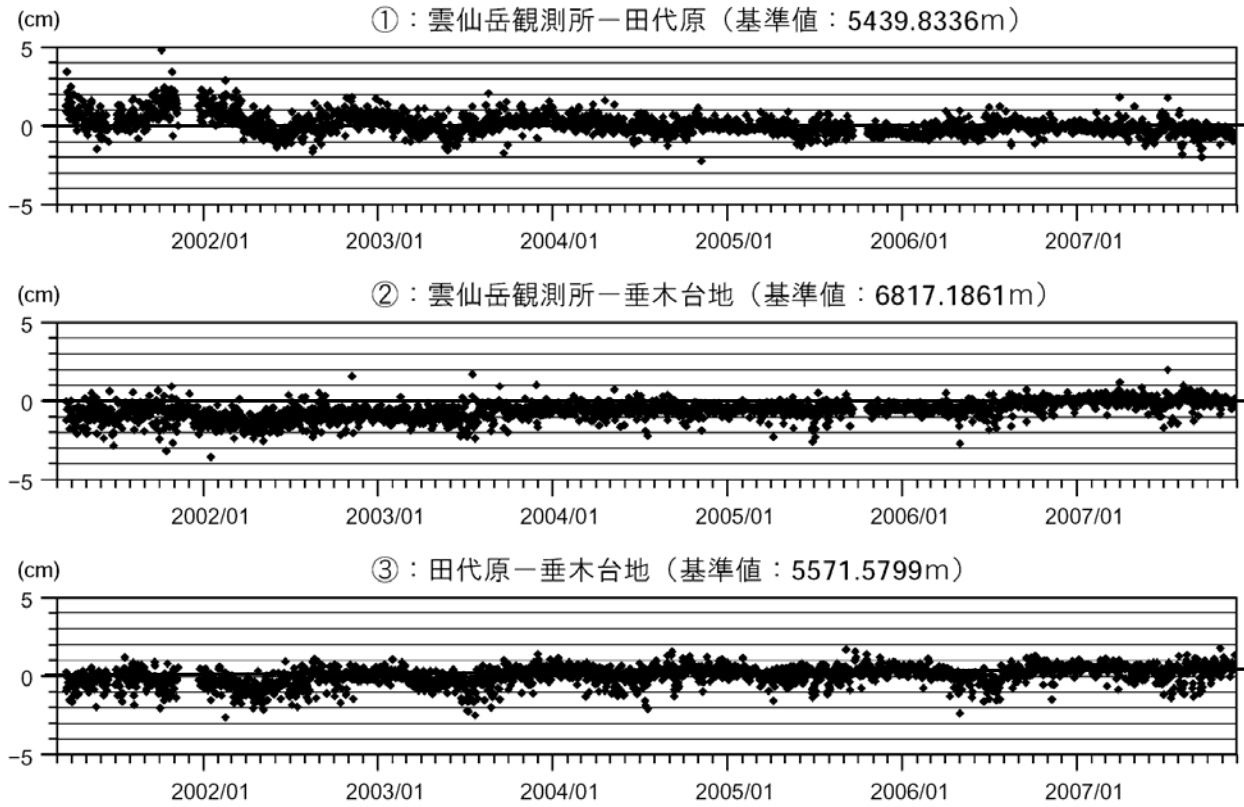


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日～2007年11月30日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。